



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場会社名 三晃金属工業株式会社  
 コード番号 1972 URL <http://www.sankometal.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 伸彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大屋 恭史

TEL 03-5446-5601

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	19,077	△14.0	△448	—	△469	—	△286	—
22年3月期第3四半期	22,181	△4.2	△390	—	△402	—	△469	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△7.23	—
22年3月期第3四半期	△11.87	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	24,245	9,345	38.5	236.18
22年3月期	24,207	9,704	40.1	245.26

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,345百万円 22年3月期 9,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	1.50	1.50
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,600	△5.3	230	22.0	210	19.9	65	△27.5	1.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 39,600,000株 22年3月期 39,600,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 31,358株 22年3月期 30,142株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 39,569,476株 22年3月期3Q 39,569,858株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足説明	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、長期化する円高、慢性的なデフレや厳しい雇用環境など、依然として景気の先行きへの不透明感が払拭できないまま推移いたしました。

その中で、当社関連業界におきましては、公共投資の縮減や民間設備投資の抑制などにより、建設需要は依然として低迷するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は受注量の確保、着工前工事管理検討の強化に基づく工事原価の低減、与信管理強化による不良債権発生防止に全社一丸となって取り組んだ結果、受注高は213億6千9百万円と前年同期と比べ11億8千2百万円(5.9%)の増加となりました。また、売上高につきましては、期首繰越受注高が少なかったため、190億7千7百万円と前年同期と比べ31億4百万円(△14.0%)の減収となり、繰越受注高は118億6百万円となりました。

経常損益につきましては、売上高が減少したものの、一般管理費を削減した結果、経常損失4億6千9百万円と前年同期と比べ6千6百万円の悪化に止まりました。

四半期純損益につきましては、法人税等調整額の計上により前年同期と比べ1億8千3百万円改善し2億8千6百万円の四半期純損失となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は242億4千5百万円となり、前事業年度末比3千8百万円増加となりました。

負債につきましては149億円となり、前事業年度末比3億9千8百万円増加となりました。これは主に仕入債務の増加によるものであります。

純資産につきましては93億4千5百万円となり、前事業年度末比3億5千9百万円減少となりました。これは主に四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は38.5%となり、前事業年度末40.1%を1.6ポイント下回ることとなりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期業績予想につきましては、平成22年4月23日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期会計期間末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、第2四半期会計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的に算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 固定資産の減価償却の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④ 法人税の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響はありません。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,643	3,367
受取手形及び売掛金	2,691	2,707
完成工事未収入金	6,715	7,564
製品及び半製品	229	234
未成工事支出金	1,906	451
原材料及び貯蔵品	715	858
繰延税金資産	282	42
未収入金	2,396	2,067
その他	230	218
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	17,797	17,498
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	391	418
機械及び装置(純額)	472	587
土地	4,144	4,144
その他(純額)	115	142
有形固定資産合計	5,124	5,293
無形固定資産	114	119
投資その他の資産		
繰延税金資産	380	410
その他	837	924
貸倒引当金	△9	△39
投資その他の資産合計	1,209	1,295
固定資産合計	6,448	6,708
資産合計	24,245	24,207

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,328	6,527
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	21	72
未払消費税等	52	240
未成工事受入金	374	171
完成工事補償引当金	62	39
その他	2,593	2,912
流動負債合計	11,933	11,463
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,483	1,483
退職給付引当金	1,194	1,250
役員退職慰労引当金	196	204
その他	92	99
固定負債合計	2,967	3,038
負債合計	14,900	14,502
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,980	1,980
資本剰余金	344	344
利益剰余金	5,163	5,663
自己株式	△6	△5
株主資本合計	7,481	7,982
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	5
土地再評価差額金	1,872	1,717
評価・換算差額等合計	1,863	1,722
純資産合計	9,345	9,704
負債純資産合計	24,245	24,207

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	22,181	19,077
売上原価	19,109	16,503
売上総利益	3,072	2,573
販売費及び一般管理費	3,463	3,021
営業損失(△)	△390	△448
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
その他	0	0
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	16	15
その他	1	10
営業外費用合計	18	26
経常損失(△)	△402	△469
特別利益	30	10
特別損失	1	0
税引前四半期純損失(△)	△373	△459
法人税、住民税及び事業税	35	33
法人税等調整額	60	△206
法人税等合計	96	△173
四半期純損失(△)	△469	△286



## 【第3四半期会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,334	4,961
売上原価	5,476	4,311
売上総利益	858	650
販売費及び一般管理費	1,126	982
営業損失(△)	△267	△332
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
その他	—	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	1	1
営業外費用合計	7	7
経常損失(△)	△273	△337
特別利益	1	2
特別損失	1	0
税引前四半期純損失(△)	△274	△334
法人税、住民税及び事業税	11	10
法人税等調整額	1	△119
法人税等合計	13	△108
四半期純損失(△)	△287	△226

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△373	△459
減価償却費	233	223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△29
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	16	15
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△98	△56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14	△7
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△0	23
前払年金費用の増減額(△は増加)	22	22
売上債権の増減額(△は増加)	1,891	629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200	△1,307
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,352	495
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△33	203
その他	△267	△220
小計	△218	△473
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△16	△15
法人税等の支払額	△157	△78
営業活動によるキャッシュ・フロー	△387	△562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△169	△92
有形固定資産の売却による収入	—	2
無形固定資産の取得による支出	—	△4
その他	8	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161	△78
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△118	△61
その他	△3	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△82
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△670	△724
現金及び現金同等物の期首残高	2,608	3,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,937	2,643

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## ① 部門別受注高及び部門別受注残高

当第3四半期累計期間における部門別受注高及び受注残高を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分		受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
屋 根	長 尺 屋 根	14,834	△ 1.3	9,380	△ 2.4
	R - T	505	21.8	534	△ 25.6
	ハ イ タ フ	1,650	23.0	1,037	0.1
	ソ ー ラ ー	1,338	150.1	761	55.6
	小 計	18,328	5.8	11,714	△ 1.2
塗 装	371	△ 7.0	92	△ 31.7	
建 材	2,669	8.5	-	-	
合 計	21,369	5.9	11,806	△ 1.5	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 部門別売上高

当第3四半期累計期間における部門別売上高を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分		売上高	前年同四半期比 (%)
屋 根	長 尺 屋 根	13,395	△ 19.0
	R - T	423	△ 58.8
	ハ イ タ フ	1,274	△ 21.1
	ソ ー ラ ー	1,006	324.8
	小 計	16,101	△ 17.1
塗 装	306	0.3	
建 材	2,669	8.5	
合 計	19,077	△ 14.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。